

2026年4月9日発行 第745号



船井メールクラブ



2026年、時代の風向きが変わる
天王星双子座時代と日本の未来



今回の執筆者：富士川 碧砂（ふじかわ みさ）さん（占い師・声優）
（富士川 碧砂さんの詳しいプロフィールは文末にあります。）



* * * * *

2026年は、これからの時代の流れを象徴する、
非常に大きな転換点の年になります。

占星術では、
時代を動かす星といわれる天王星が双子座に入り、さらに拡大と発展の星・木星が獅子座へと移動します。

情報、AI、教育、通信、そして表現やエンターテインメント。

これまでとは比べものにならないほど、
社会の仕組みそのものが大きく変わっていくでしょう。

では、この大きな変化の中で、日本はどのような流れの中に入っていくのでしょうか。

世界の大きな変化の中で、日本がどんな役割を担い、どんな未来へ向かっていくのか。
占星術の視点から、その流れを読み解いていきます。

今回は、

- 天王星双子座入りが意味するもの
- 木星獅子座時代の始まり
- 夏至図・秋分図から読む日本の流れ
- そして2026年の開運日

これらをもとに、2026年という年の風向きを読み解いていきたいと思います。

星は未来を決めるものではありません。

しかし星は、これから吹く風の向きを、そっと教えてくれる存在です。

その風を知ることで、私たちは自分の人生の帆をどこに向けるのかを考えることができます。

2026年という年が、あなたにとって新しい可能性を見つける一年になるように。
星からのメッセージを、人生の羅針盤として受け取っていただけたら嬉しいです。

《目次》

1. 2026年最大の星の動き

天王星双子座入り

2. 2026年もうひとつの転機

木星獅子座入り

3. 夏至図から読む2026年の夏

(7月・8月・9月の日本)

4. 秋分図から読む2026年の秋

(10月・11月・12月の日本)

5. 暦から見る2026年の開運日

6. 星が教えてくれること

* * * * *

1. 2026年最大の星の動き

天王星双子座入り

革新の星・天王星が、双子座入りします。

昨年は牡牛座と双子座の間を行ったり来たりしながら、まるで「天王星双子座時代の予告編」を見せられていたような一年でした。

いよいよ 2026 年 4 月 26 日、天王星は双子座へと完全に移動します。

そして 2033 年 5 月まで、途中で蟹座に一時滞在しながら、およそ 8 年間このサインに滞在します。

これから天王星は、双子座が象徴してきた世界を大きく書き換えていくでしょう。

双子座が象徴するテーマは、

- ・ 情報
- ・ 通信
- ・ 教育
- ・ 移動
- ・ コミュニケーション
- ・ 学び・知性

これらの分野が、これまでとはまったく違う形へと変わっていきます。

「情報革命」

私は、これからはパソコンという形が少しずつ姿を変え、スマートフォンがさらに進化していくのではないかと感じています。

スマートフォンのアプリを中心に、
仕事や生活を管理する時代は、すでに始まっています。

この流れは、天王星双子座時代にさらに加速していくでしょう。

「メディア」

メディアの勢力図も大きく塗り替えられます。

これまで影響力を持っていたテレビは徐々に衰退し、SNS や個人発信が社会を動かしていく力を持つようになります。

「AI の進化」

AI は、想像を超えるスピードで発展していきます。

これまで人間が担ってきた仕事の一部を AI が引き受け、人間と AI の役割分担は、これまでとは大きく変わっていくでしょう。

その一方で、人間にしかできない仕事の価値も、より明確になっていきます。

風の時代に入り、リモートワークなどでリアルな交流が減ってきましたが、これからはむしろ

- ・おもてなし
- ・人との交流
- ・感情の共有

といった、人間同士の関係性に価値が生まれていく可能性があります。

「超高齢化社会と AI」

超高齢化社会に突入している日本では、労働力不足が大きな課題となっています。

これまでは外国人労働者に頼っていた分野も、AI の力によって、高齢者でも働ける形へと変化していく可能性があります。

医療や美容の分野でも、想像できないほどの進化が起きるでしょう。

しかしその一方で、人間と AI の「棲み分け」をどう考えるかが、大きな課題になります。

「教育の変化」

教育の現場でも大きな変化が起きます。

教員不足が深刻な中、AI が知識教育を補い、人間の教師は、人間教育や人格形成の部分により深く関わるようになるかもしれません。

「交通・物流の変化」

物流業界も人手不足が深刻です。

そのため、コンビニに荷物を取りに行くなど、コンビニは、かつての「よろず屋」のように、ますます役割を広げていくでしょう。

ドローン配送はまだ試験的段階かもしれませんが、

- ・ライドシェア
- ・無人運転タクシー

などは、当たり前存在になっていく可能性があります。

「過去の天王星双子座時代」

天王星は、およそ 84 年周期で 12 星座を一周します。

では、過去の天王星双子座時代には、どんな出来事が起きていたのでしょうか。そこから、これからの時代を生き抜くヒントを探してみたいと思います。

【1941 年～1949 年】

この時代は、第二次世界大戦の真ただ中から、戦後復興、そして冷戦の始まりまでという、人類史の大きな転換期でした。

- ・ラジオの黄金時代

戦時中、ラジオはプロパガンダや戦況報告の中心となりました。

- ・航空技術の爆発的発展

プロペラ機からジェット機への移行が始まりました。

・言語と文化の混合

戦争による民族移動によって、異なる文化と言語が混ざり合いました。

・教育の変化

詰め込み型ではない、より実用的・技術的な教育が求められるようになりました。

【1858年～1866年】

この時代には、通信と交通の革命が起きました。

・南北戦争と情報戦

電信が軍事戦略に本格的に導入され、情報が戦争の鍵となりました。

それまで情報は、馬や船の速度でしか伝わりませんでした。電気通信が世界をつなぐ時代が始まりました。

・鉄道黄金時代

鉄道網が各国で急速に広がりました。

・義務教育の議論

近代教育制度の議論が始まりました。

「天王星双子座時代を生き抜く知恵」

このように、天王星双子座時代は、常に想像を超える進化を人類にもたらしてきました。

これからの8年間も、私たちの想像をはるかに超えた変化が起きるでしょう。

しかし、良いことばかりではありません。

新しい形の犯罪や詐欺も生まれます。

戦争も、これまでの武力中心のものから、情報を制する者が勝つ「認知戦（情報戦）」へと変わっていく可能性があります。

だからこそ、この時代に必要なのは、情報の真偽を見極める力です。

また、日本ではこの天王星が軍事を象徴する6ハウスに位置しているため、日本の防衛体制も大きく変わる可能性があります。

そして何より、この時代の最大のテーマは「AIとの付き合い方」です。

AIを恐れるのではなく、どう共存し、どう棲み分けるのか。AIに助けてもらいながら、人間にしかできないことを深めていく。

それが、この天王星双子座時代を生きる私たちの大きなテーマになるでしょう。

2. 2026年もうひとつの大きな転機

木星獅子座入り

2026年の6月30日の15時52分、拡大と発展の星・木星が獅子座に入ります。
(2027年の7月26日の12時40分まで)

2025年から2026年前半まで、木星は蟹座に滞在し、「家庭」「安心」「守るもの」といったテーマを広げてきました。

家族の絆、居場所、心の安心感。そうしたものを見つめ直す流れが続いてきましたが、

木星が獅子座に入ると、社会の空気は大きく変わります。

蟹座が「守り」だとすれば、
獅子座は「表現」です。

獅子座は、

- ・創造
- ・自己表現
- ・エンターテインメント
- ・リーダーシップ
- ・誇り

を象徴する星座です。

つまり、2026年の後半からは、「自分をどう表現するか」というテーマが社会全体に広がっていきます。

「エンターテインメントの復活」

木星獅子座時代には、エンターテインメントが大きく発展する傾向があります。

映画、音楽、舞台、スポーツなど、人を楽しませる文化の価値が高まり、人々は「心が動く体験」を求めるようになります。

AIやテクノロジーが進化する時代だからこそ、人の感情を動かす表現の力が、より大きな価値を持つのです。

「個人発信の時代」

木星獅子座の時代は、「主役は自分」という流れが強くなります。

SNSや動画配信など、個人が発信するメディアはさらに広がり、一人ひとりが自分の物語を表現する時代になっていきます。

天王星が双子座に入り、情報と通信が革命的に変わる流れの中で、木星獅子座は

「その舞台で誰が輝くのか」

というテーマを社会に投げかけます。

「リーダーの時代」

獅子座は「王」を象徴する星座でもあります。そのため、

- ・強いリーダー
- ・カリスマ性
- ・トップの存在

が注目される時代になる可能性があります。

政治や社会の中でも、「誰が旗を振るのか」ということが大きなテーマになっていくでしょう。

(※この続きは、【船井メールクラブ】の会員様サイトからお読みいただけます)

* * * * *

《今回の執筆者：富士川 碧砂さんのプロフィール》

●富士川 碧砂（ふじかわ みさ）●

占い師・声優

フジテレビ『突然ですが占ってもいいですか?』『とくダネ!』月曜占いコーナーに出演！声優・寺瀬今日子としても35年のキャリア。臨死体験を機に、霊能者である祖母の血が覚醒。オーラ透視の能力を得る。その後、西洋占星術、タロット、易、風水など、さまざまな占いの研鑽を積む。また、和の世界にも造詣が深く、開運和柄商品の実業でも実績を上げている。声優・寺瀬今日子としては、青二プロダクション所属。フジテレビ「とくダネ!」「進撃の巨人」モーゼスの母役など出演作多数。

最新刊は『幸運が舞い込む浄化・邪気除け生活 ―「スマホ風水」は最強の開運法』（さくら舎）

各種 SNS

<https://lit.link/fujikawamisa>
